しおん

繋げなかった「タスキ」

施設長　佐野　毅

新年明けましておめでとうございます。

新春恒例の「大学箱根駅伝」をＴＶ観戦しました。

今年は下馬評どおり東洋大学が圧倒的な強さで2年振りに完全優勝を果たしました。しかしその裏で「タスキ」を繋げずに無念の悔し涙を流したチームがいくつかありました。

ご存じ「駅伝」とは、「タスキ」をつなぐスポーツですが、そこには無情にも「繰り上げスタート」というルールがあります。これは、トップのチームから遅れること20分以内に次の選手にタスキを繋げなかったチームは、規定時間になったらタスキを受け取らずにスタートしなければならない、という「屈辱のルール」です。

今年も、復路9区の鶴見中継所において、5つのチームがタスキを繋げずに10番目のアンカーが「繰り上げスタート」を余儀なくされるという無念の姿がＴＶ映像に映し出されました。

９区を必死に走り終えて、レース最後の中継所に飛び込んできた選手たちですが、渡すべき味方の選手がもはやそこには誰一人として待ってはおらず、チーム全員の汗と涙が染み込んだ「タスキ」を肩から外したまま、ただただ呆然と立ち尽くす姿に、沿道を埋めた観衆からは同情の涙を誘っていました。

一方、私たち施設職員は、駅伝選手のように「タスキ」こそ持ってはいませんが、利用者様の介護・支援に関する情報の「連絡・報告・相談」を24時間365日、常に確実に「つなげる」大事な役割りがあります。この「引継ぎ（申し送り）」こそ、私たちにとっての「タスキ」に相当するものなのです。

駅伝には「繰り上げスタート」はあっても、私たちの仕事に「繰り上げスタート」は、あってはならないのです。常にいかなる時でも確実に「連絡・報告・相談」がつながるように、今年も報告・連絡態勢の充実を図ってまいります。

本年も、御指導のほどよろしくお願い申しあげます。

3階便り

～ドライブ外出～

介護員　永田　栞

12月7日 利用者様のＳ様、Ｔ様、Ｙ様と職員３名でドライブ外出に行ってきました。

紫苑荘で昼食を食べてから出発し、まずは富津岬へ向かいました。好天にも恵まれまして、車を降りて東京湾（浦賀水道）を行き交う船を眺めたり記念写真を撮ったりして過ごしました。しかし、晴れてはいても12月の海風は冷たく、利用者様は「寒いよー、早く帰ろー」と仰っていました。

富津岬を出発し、富津のジャスコに向かいました。ジャスコに到着して店内に入ると、中はクリスマス一色でホールには大きなクリスマスツリーが飾られていました。土曜日の午後ということもあり、他のお客様も多くとても賑わっていました。

私たちはまず、2階のフードコートに向かい席に着き利用者様に何を召し上がりたいか伺いました、Ｓ様はクレープ、Ｔ様とＹ様はソフトクリームを注文されました。皆様、大きな口で大変美味しおいしそうに場って頬ばって召し上がられていたのが印象的でした。その後は店内

2階便り

～「喫茶しおん」好評です～

介護員　玉川　緑

単調になりがちな施設での生活の中にあって、利用者様に少しでも日々の生活を楽しんで過ごしていただけるようにと、手探りで始めた「喫茶しおん」も早半年が経ち、利用者の皆様に少しずつ定着してきたように思います。

この企画を始めた頃は、遠慮がちに「なんでも良い。」と仰っていた利用者様も、今では自分のお好きなドリンクを注文されるようになり、毎週末の「喫茶しおん」を心待ちの雑貨屋さんをウインドウショッピングし、利用者様は膝掛などをお買い求めになられました。短い時間でしたが、利用者様にとりまして久方振りのドライブ外出で良い時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

暖かくなりましたら、また企画したいと思います。

（3階介護員一同）

にしていただけるようになりました。夏は、冷たいジュース類が大人気でしたが、冬場の今の時期は、ホットコーヒーの注文が多くなりました。

最初は、インスタントコーヒーを使っていたのですが、施設から予算をいただけたので「バリスタ」の本格的なコーヒーメーカーを購入しました。やはり本格的なコーヒーは、香りも味もインスタントとは全く違います。利用者様も、そのことが良くお分かりの様で「いい香りだね。」と、目を細めながら仰っていました。

「喫茶しおん」を始めたこ

との副次的な効果として、

普段水分をあまりお摂りに

ならない利用者様も、この日

ばかりは楽しみながらドリン

ク類を飲まれている姿を拝見

し、新たな発見もできました。

また、12月21日には「クリスマスパーティー」を企画し、「サンタ&トナカイ」さんから利用者様お一人お一人に素敵なプレゼントをいただき、生クリームとチョコレートのデコレーションケーキを皆様で切り分けて美味しく召し上がっていただきました。利用者様お一人の笑顔がとても素敵な一日でした。

これからも、利用者様の声に耳を傾け楽しんでいただけるように「喫茶しおん」を盛り上げていきたいと思います。

（2階介護員一同）

事務室便り

12月26日（木）。年に一度の事務室「大掃除・ワックスがけ」を行いました。作業開始は何と、早朝5時からです。「今年は、早朝5時から行います・・・」の施設長のひと言に一同一瞬静まり返ってしまいました。

紫苑荘の1階事務室は、すぐ隣に「法人事務局」がある関係で、年末と云えども朝から来客や法人内の他の職員の出入りがありますので、事務局が業務を開始する午前8時30分までには、ワックスがけ作業を全て終わらせておく必要があります。

そのためには逆算すると、どうしても「早朝5時」になってしまうのです。

事務職員は、普段は午前8時45分に始業しますので、年末の厳冬期の「早朝5時出勤」は確かにきつかったのですが、介護さんや看護、厨房職員の「早番」は、午前7時とかそ

れより早く出勤する場合もありますので、交替勤務スタッフの苦労も少しだけ身をもって体験することが出来た一日でした。

事務所の床を磨きながら「一年間の垢を落とし、新たな気持ちで新年を迎える」心構えが持てました。（1F事務室職員一同）

医務室便り

健康管理室長　千葉章貴

1月1日付で、健康管理室長を拝命いたしました。前任の長谷川容子に引続きご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、日に日に寒さが厳しくなってまいりました。このお便りが届く頃は、「ノロウィルス」の流行がピークに達し、又「インフルエンザウィルス」の流行時期とも重なっていることと思います。今年も11月にインフルエンザ予防接種を済ませ、室内の加湿にも気を配っております。

また、体調不良時には早期受診を心がけております。施設では、体力・免疫力が弱まっている利用者様が多いことから、場合によっては面会を制限したり中止させて頂くことがありますが、ご了承下さい。その際は、お

厨房では、「仕込み」から「盛りつけ」まで職員全員で取り組みました。

利用者様、職員の皆様が今年一年も健康で元気に過ごせます様に。本年も宜しくお願いいたします。

ボランティアコーナー

今回は、「ワールド歌謡（進藤利夫社中）」の皆様のご紹介です。

11月に、進藤利夫代表率いる皆様が、歌の慰問にいらしてくださいました。

なつメロや演歌、踊りなどを中心に昔懐かしい曲を沢山披露してくださいました。利用者の皆様も、若かりし頃を思い出して、一緒に口ずさんでいる姿も見られました。

今後とも末永くお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

って書面にてご連絡いたします。

新たに着任した看護員を紹介します。

岩脇ひとみ　（9月1日付採用）

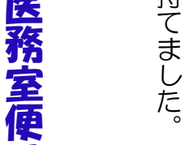
ご縁があり、再び望みの門で仕事をさせて頂いております。9年振りに懐かしい利用者様と再会すると、「あんたかい…」と声をかけて下さいました。覚えていてくれた驚きと、嬉しさとで、逆にこちらが元気を頂きました。

出口真美（11月1日付採用）

昨年の十一月より紫苑荘に勤務し、二ヶ月が経ちました。まだまだ慣れていない事が多くあり自分の業務だけで一杯になってしまいますが、利用者様が笑顔あふれる日々を送れる様に頑張りたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（看護職員一同）



厨房便り

調理員　忍足直人

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

「お節料理について」（豆知識）

古くは中国から伝わったものであり、節日（節句）に作られる料理の一つ、節日の中で最も重要なのが正月である為、正月料理を指す様になったそうです。

元々は「本膳料理」であった物を重箱に詰めて今の形になったのは明治時代以降の事とされています。

・黒豆（長寿と健康）　・数の子（子孫繁栄）

・紅白かまぼこ（初日の出の象徴、赤は魔除け　白は洗浄）

・伊達巻（巻物に似た形状から、文化・学問・教養を表す）

・エビの焼き物（不老長寿）

などなど、地域によって内容は異なりますが、重箱を彩る数々のお料理には、それぞれ由緒とされるものがあります。

近年では食文化の多様化により、中華・洋食など、様々な料理がお節料理に加えられてきておりますが、大切な日本の文化の一つとして後世に残して行きたいですね。

新規配属職員紹介

新たな仲間が増えました
どうぞよろしくお願い致します

11月1日付採用
看護員　出口真美（でぐちまさみ）さん

12月1日付異動（転入）
（望みの門楽生園から）
主査介護員　鳥海秀子（とりうみひでこ）さん
（望みの門富士見の里から）
介護員　室井敬子（むろいたかこ）さん

新規採用職員や法人内部異動・転入者は皆さん「やる気」と「情熱」をもって紫苑荘に着任していただきました

ご活躍を大いに期待しています。

編集後記

法人（望みの門）では、昨年4月に「訪問看護ステーション」の事業を開始しました。ステーションの事務所は、紫苑荘1階の奥にあります。看護スタッフは、所長である看護師を含めて計4名おります。

富津市内の他の訪問看護ステーションは、医療機関（病院）に併設されていますが、医療機関から独立している訪問看護ステーションは、富津市内では「望みの門」ただ一箇所です。「独立型の訪問看護ステーション」の利点を活かして、在宅で療養生活を送られている患者さんのお宅に、今年も訪問看護活動の更なる充実が期待されています。

また、この4月からは、富津市役所から業務委託を受けて新たに「地域包括支援センター」の事業を開始することになりました。現在「事務所」の開設準備を進めていますが、場所は「富津ジャスコ」のすぐそばに設置される予定です。

社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特別養護老人ホーム　望みの門紫苑荘
千葉県富津市富津６１７の１４
０４３９（８７）５０７７
発行責任者　施設長　佐野　毅